

特集

時のまち！海峡のまち！食のまち！

明石

あかし

JR・山陽電鉄「明石駅」周辺 バリアフリー調査報告



兵庫県南東部に位置する「明石市」。東経 135 度日本標準時子午線上にあり、天文科学館がまちのシンボルとなっている明石市ですが、玉子焼（明石焼）でご存じの方も多いのではないのでしょうか。我々兵庫頸髄損傷者連絡会のメンバーも、明石市にある公共施設を行事や役員会でよく利用します。

今回の特集は、再開され利用しやすくなった JR・山陽電鉄「明石駅」周辺をバリアフリー調査してみよう！と企画し、調査メンバーがエリア別に調査した内容を報告します。JR・山陽電鉄「明石駅」エリア、公園エリア、天文台エリア、商業施設エリア、市場エリアといった 5 エリアを、電動車椅子で駆け巡って調査してきました。明石駅周辺をご利用なさる際にお役に立てれば幸いです。（宮野 秀樹）

JR・山陽電鉄「明石駅」エリア

調査員・島本卓

明石の語源というのが、明石川の西にある赤石（あかいし）や、明るいという意味の「明し」とも言われている。また「源氏物語」や「日本書紀」にも登場する地名でもある。

みなさんは、明石と聞くとどんなイメージを思い浮かびますか。私が 1 番に浮かぶのは「海」です。なんとといっても、明石沖でとれるマダコが最高に美味しいので、是非、明石に来られるときに食べてみてください。

今回の調査エリアは「明石駅周辺」です。

私は、JR「明石駅」と山陽電鉄「山陽明石駅」のバリアフリー調査を行いました。最初に、私が使用している電動車いすをベースに調査をしています。（幅 70 cm×長さ 120 cm×高さ 140 cm）

「JR 明石駅」改札内 EV

3.4 ホーム側 EV①、1.2 ホーム側 EV① の計 2 基が設置されています。2 基ともに同じタイプの EV。

- ① 最大定員：11 人
- ② サイズ：間口 89 cm・奥行き 145 cm
・幅 140 cm
- ③ タイプ：一方型
- ④ 車椅子ユーザーボタン：あり
- ⑤ 後方確認ミラー：あり
- ⑥ 利用可能時間：4:00～翌 1:00

私の電動車いすの幅でも、入れる間口です。鞆などを電動車いす後方に引っかけていると、扉を閉める際に挟まることがあります(図 1)。



図 1 介助者から先に乗ってもらうほうがいい

改札から EV までの導線は、案内板があるのでわかりました。ホームから EV で降りてからの導線が、点字ブロックでしか導線がありませんでした。床面には EV マークはあるが、視界に入る位置には案内板はありません(図 2)。



図 2 今もたまに迷う時がある

「JR 明石駅」改札内 多目的トイレ

各 EV 前に設置されています。JR 明石駅で、初めて見て驚いたオストメイトが設置されていました(図 3、図 4)

3.4 ホーム側

- ① ドアタイプ：手動
- ② 入り口サイズ：快速側 89 cm
- ③ 便器アプローチ：左
- ④ 手すり：横開き
- ⑤ ピクトグラム：あり

1.2 ホーム側

- ① ドアタイプ：手動
- ② 入り口サイズ：新快速側 90 cm
- ③ 便器アプローチ：右
- ④ 手すり：横開き
- ⑤ ピクトグラム：あり

2 つのトイレで共通しているのは、私の電動車いすであれば、トイレ内で旋回が可でした。



図 3 新快速側 多目的トイレ

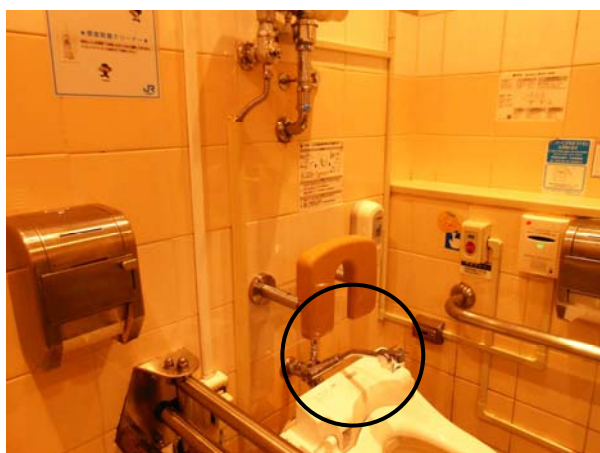


図 4 収納式で驚いたオストメイト

私は JR 明石駅の多目的トイレを利用することが多い。スロープの手配を終えて、待っている間に利用する。しかし EV の前にあるため、EV 待ちの利用客や下りてくる利用客があるので、いつもタイミングを見計らって利用することにしています。もう一つ悩むことは、一般の方の利用頻度がとても多いといえる多目的トイレだと、私は思っています。

「山陽明石駅」改札内 EV

3.4 ホーム側 EV①、1.2 ホーム側 EV① の計 2 機が設置されています。2 機ともに同じタイプの EV。

- ① 最大定員：11 人
- ② サイズ：間口 90 cm・奥行き 212 cm
・幅 95 cm
- ③ タイプ：貫通型(通り抜け)
- ④ 車椅子ユーザーボタン：あり
- ⑤ 後方確認ミラー：あり
- ⑥ 利用可能時間：9:30~24:30

山陽明石駅の EV は通り抜けタイプで利用しやすいものが設置されています(図 5)。



図 5 通り抜けタイプ EV

実際にホームから EV を利用して、改札に向かう時には不便と感ずることはありませんでした。今から利用するぞと切符購入をして、ホームに行くときには柱などの死角により、EV の位置がわかりませんでした。案内板には、三宮方面、姫路方面が分かるようになっているだけでした(図 6)。



図6 改札内からEVが見えますか

私は何回も利用しているので、EVまで行くことができますが、初めての利用だったとしたら迷うと思います。私自身が迷いました(笑)。

もちろん建物のつくりから、設置位置がここしかなかったと言われると仕方ありません。でも床面、上部に案内があれば、電動車いす使用者だけでなく、高齢者から多くの方が利用しやすくなると思いました。

「山陽明石駅」西口改札前 EV

西口改札(2F)を出て、JR明石駅(1F)、スーパー(B1)に利用できるEV。

- ① 最大定員：11人
- ② サイズ：間口90cm・奥行き150cm・幅140cm
- ③ タイプ：貫通型(通り抜け)
- ④ 車椅子ユーザーボタン：あり
- ⑤ 後方確認ミラー：あり
- ⑥ 利用可能時間：9:30～24:30



図7 EVの場所がわりにくい

このEVを利用されるのは、1FからB1に下りられる方が多いです。山陽明石駅は2Fにあるため、EVを利用するには待たされることも少なくありません。

「山陽明石駅」東口改札前 EV

まず駅南側に出ます。左に曲がりアスピア方向に進んでいくと、バス停前にEVが設置されています(図8)。

- ① 最大定員：15人
- ② サイズ：間口90cm・奥行き162cm
・幅160cm
- ③ タイプ：貫通型(通り抜け)
- ④ 車椅子ユーザーボタン：あり
- ⑤ 後方確認ミラー：あり
- ⑥ 利用可能時間：6:00～23:00

※EV正面シャッターは、5:10～23:00利用可。

改札は2Fになりますが、このEVは3Fまで上がることができます。

ちなみに、3Fに上がればペDESTリアンデッキがあり、パピオス2F、アスピア明石の近くまで移動することができます。屋根もついているので、雨天時も安心して利用することができます。



図8 ゆったりと乗れるEV

東口改札を調査しましたが、私が気になった箇所を報告します。まず改札に行きましたが、駅員さんはおられませんでした。そうすると駅員さんと呼ばないと、乗車対応がしてもらえないと思います。そこで、呼び出しボタンを探しましたが、見当たりませんでした。以前使用していたインターホンも残っていませんでした。現在はこんな感じで駅員さんと呼べるように設置されていました(図9)。



図9 何かに気づきませんか

私が驚いたのが、図9の真ん中に写っている受話器の高さです。この高さで使えるものなのか。もし呼び出しできなかつたら、駅員さんの対応がしてもらえないかも。そもそも、どのように利用されているのかを見たいです。

バリアフリー住宅の基準として、床から100cmが適切だと言われているのに対して、20cm、30cmは確実にいいほど高いです。

利用の際には、介助者と一緒に利用することをおすすめします。

「山陽明石駅」改札内 トイレ

山陽明石駅では、3.4ホーム側EV横にトイレが1カ所設置されています(図10)。

- ① ドアタイプ：手動
- ② 入り口サイズ：快速側89cm
- ③ 便器アプローチ：左
- ④ 手すり：横開き
- ⑤ ピクトグラム：あり



図10 私の電動車いすで旋回できます

このトイレを一目見て、残念と感じてしまったのが1点あります。それは鏡の設置場所です。便器の配置上で、この場所になったんだと思います。私的に後方確認できる鏡があればと、思っていました。

もう一つ、山陽明石駅のトイレ前にゆるやかな勾配のスロープがあります。ただスロープにするだけでなく、雨天時や清掃時の床濡れに対しての工夫がされています。スロープに、横方向にゴムをつけるだけで、滑る心配が軽減します(図11)。



図11 誰もが使いやすい工夫

今回の調査を通じて、普段利用している2つの駅の使いやすさ、使いにくいと感じる箇所を知ることができました。使いにくいから改善が必要であるが、「どうすれば使いやすいのか」。また、「使いやすくするための方法」があるのか。これらを考えながら、バリアフリー調査をしてみるともっと楽しいのかもしれない。調査結果をもって、誰もが使いやすい環境整備に向けて、今後進めていきたいと思っています。

おすすめ店

明石にきたら「鶏膳 総本店」でランチはいかがでしょうか。食いしん坊な私は、ここの「味」「ボリューム」「リーズナブル」の3拍子のとりこになっています。

店内はテーブル席が6席ほどあります。テーブルの移動も相談できますので、是非、行ってみてください。



ピオレ明石 東館 1F



チキンカツ丼 720円 チキンカツ定食 700円

公園エリア

調査員・米田進一

皆さんは明石のイメージとして何が思い浮かびますか？「魚の棚」や「明石公園」は有名観光地として知られていると思います。アクセスも良く駅から徒歩 10 分程で到着します。今回、桜の名所として「明石公園」を調査してきましたので、ご紹介したいと思います。

明石公園内には城をはじめ池や競技場、広場があり老若男女を問わず広い行楽地になっています。今回はトイレを主に調査をしてみました。

まず正面入り口から直ぐ左側にある「とき打ち太鼓」という「からくり人形(ロボット)」が出迎えてくれます。午前 8 時から午後 6 時まで、1 時間置きに舞を見せてくれ、太鼓を叩き刻を知らせてくれます。定刻時間が合えば見て下さい。



とき打ち太鼓は普段閉まっています

その反対側には公園管理事務所があり、奥にはユニバーサルトイレがあります。私の電動車椅子(以下電動)のサイズは全長 145 cm・幅 65 cmですが、その様な大型の電動でも問題なく使用できるほど広く利用し易くなっています。そこで大型でもお薦めできるトイレを幾つか紹介します。

西側にある明石トーカロ球場前の 3 号トイレと、北側の千畳芝の所にある 8 号トイレもスロープが広く利用し易いトイレでした。あとは、東西にある駐車場に隣接しているトイレも比較的入りやすいトイレでした。



8号トイレ



10号トイレ

その他は入れますが、傾斜であったり、奥行きが短かったりして私的には使用し難いと感じました。あまりお薦めできないトイレもあり、パークハウス(ボート乗り場)のトイレは通路も狭く、

自転車等が通路に置いてあり、利用できませんでした。10号トイレの障害者用トイレは外から施錠がされていて利用が出来ない状態でした。6号トイレの入り口は通路に凹みがあり、避けて通らなければ行けませんでした。また、トイレへの案内板が無い事もあり、出来れば全てのトイレ付近に設置して貰いたいと感じました。

飲食店の情報として、正面入り口直ぐの右側にカフェがありますが、この日は残念ながら営業していませんでした。「きしろスタジアム」北側の出入り口の傍にある中華料理屋があります。



アーチ状出入り口ゲート

外に行く為の出入り口はあります。アーチ型ゲートの為、介助型の直角式車椅子は通行できますが、通行する為のゲートは施錠されていて、私の電動では通行する事が出来ませんでした。運良く警備員がいればゲートを開けてくれます。

明石公園で是非観て頂きたいのは、「とき打ち太鼓」、「千畳芝」、「明石城武蔵の庭園」、「坤櫓（ひつじさるやぐら）」と巽櫓（たつみやぐら）」です。

千畳芝は大きいイベントに使用する広場になります。毎年開催される兵庫県農林業祭のメイン会場としても知られ、過去にB1グランプリの会場になった場所でもあります。千畳芝までは第二駐車場が近いのですが、駐車場から千畳芝までの道は急勾配である為、行き帰りは気を付けて下さい。とき打ち太鼓から千畳芝までの道、又は第一駐車場からは比較的フラットな道になりますが、それでも所々にちょっとした傾斜がありました。

明石城武蔵の庭園は、剣豪宮本武蔵が庭園造りの才能を発揮していたことを県民に知ってもらうと共に、歴史文化的に魅力ある公園となるように造られた庭園です。ここも是非見て下さい。

明石城のメインスポット、坤櫓と巽櫓の間には展望デッキまで上がる事の出来るスロープが設置されています。電動でも問題なくスムーズに行けます。デッキは広く数台の車椅子でもすれ違えます。明石公園城壁補修工事の為、調査する日が被っていたので、景観も部分的しか見渡す事が出来ませんでした。



展望デッキまでのスロープ

ここへ行くには、文化博物館に連絡通路として利用するエレベーター（下）で東ノ丸から入り、二ノ丸を通ったほうが行きやすいです。個人的にはデッキに行ってから反時計回りで公園の散策がおすすめです。



文化博物館と隣接している連絡橋エレベーター

道中は砂利や石畳など場所的に車椅子の方には移動しにくい箇所もあり、段差が7 cm以上ある所も多く、自走、手動に拘わらず急勾配や階段等により通る事の出来ない通路も多少あります。場所を選びながら通行しなければならないのはとても大変でした。



場所により7 cm以上の段差がある

個人的に感じたのは、視覚障害者も利用し易い様に音声案内ガイドが流れていればと思いました。

今年で築城400周年を迎える明石城。現在3月15日迄改修工事をされていますが、改修後沢山の人が足を運んで貰える様な明石公園に生まれ変わって貰えると嬉しいです。

詳細については「明石公園ふれあいMAP」で検索をお願いします。

天文台エリア

調査員・米田進一

子午線の街で知られる明石市の代表的な施設といえば「明石市立天文科学館」(以下、天文科学館)が有名です。東経135度の子午線上に位置し、来場者も多いです。今回はその魅力をお伝えしたいと思います。

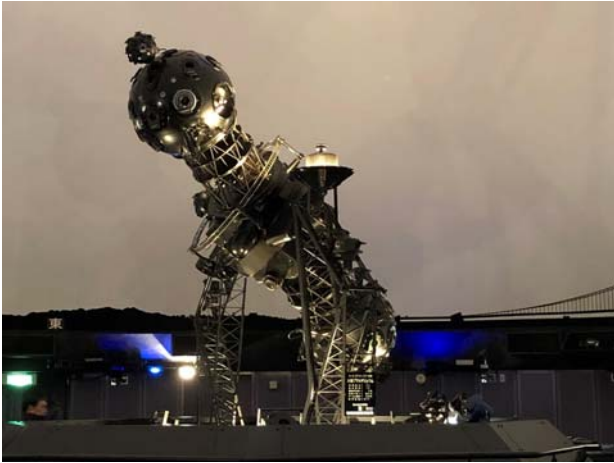
山陽人丸前駅を降りると、北側の高台に時計台が見えます。天文科学館の象徴ともいえるこの時計台は、昭和35年6月10日の「時の記念日」に竣工して以来、今も尚時を刻み続けています。



明石市立天文科学館

入館するとご当地戦隊「シゴセンジャー」が出迎えてくれました。受付で入館料を払い、調査開始。因みに私の電動車いす(以下、電動)のサイズは全長145 cm、幅65 cm、重量270 kgあり、大型の電動です。まず1Fのロビーを視察。ミュージアムショップになっていてオリジナルグッズを販売しています。トイレは受付の裏側にあり少し下りの傾斜になっていて、私の電動でも入る事が出来ました。エレベーターですが、1基のみで1階から4階と13階、14階にしか止まりません。5階から12階と15階から16階は階段でしか上り下りが出来ない様です。エレベーターのサイズは間口86 cm、奥行き150 cm、幅140 cmで私の電動でも余裕がありました。

2階に上がると天文ホールでの展示物や、プラネタリウムの投影会を楽しむ事が出来ます。天文科学館を中心とした星空を投影し、50分間の生解説付きで鑑賞出来ます。



プラネタリウム

3階では世界の時刻や天文ギャラリー、隕石等が展示してありました。どれも珍しい物ばかりで、子供から大人まで十分に楽しめると思います。

4階はエレベーターの向かいに車いす専用リフトが設置されていて、職員を呼び中2階まで上げて貰います。リフトのサイズは奥行き140cm、幅65cm、耐荷重量220kgとなっており、私の電動がギリギリ入る事の出来る広さです。なんとか乗る事は出来ましたが、昇降が遅いので重量オーバーで壊れるんじゃないかと不安になりました。



車いす専用リフト

4階中2階のフロアから日時計広場に出ると、景色もよく明石海峡を一望する事が出来ます。ここでは自分の影の角度で時刻を知る事が出来、人間日時計という貴重な経験をする事が出来ました。東経135度を表す「トンボの標識」もこの広場から観る事が出来ます。



人間日時計で時刻を刻む

再びエレベーターに乗り、次は14階へ。降りると展望室になっており、360度景色を見渡す事が出来ます。東経135度の位置で記念撮影。

ちなみに13階も展望室になっていますが、通路が狭く仕切りもある為、私の電動では通る事が出来ませんでした。



東経135度の位置

今回私の電動で行けた所はここまでになります。1階から4階、13階、14階と調査しましたが、トイレはいずれにも設置されており、13階だけが少し狭く感じました。その他は私の電動でも入れる広さがありました。

数十年ぶりに訪れましたが、子供に戻った様な気持ちになり、非常に楽しめました。時間も忘れ色々魅入ってしまい、有意義な時を刻む事が出来ました。また機会があれば行きたいと思います。

☆概要

営業時間：9時30分～17時（入館は16時まで）

入館料：一般700円

（障害者割引で介助者1名まで半額）

駐車場：2時間まで200円（1時間毎に100円）

フロアマップ

<http://www.am12.jp/shisetsu/floormap/floormap.html#barrierfree>



3階トイレ



ご当地戦隊シゴセンジャー

商業施設エリア

調査員・宮野秀樹

2016年から名称を変更してリニューアルオープンした、JR明石駅・山陽電鉄明石駅に隣接する商業施設「ピオレ明石」と、同じく2016年から駅前にオープンした再開発ビル「パピオスあかし」の調査報告をします。

ピオレ明石、パピオスあかしは商業施設であるため、多数の店舗が入っており、全てを調査するには膨大な時間を要します。今回は、トイレ（以下、WC）とエレベーター（以下、EV）を中心に、移動経路上にあるバリアフリー情報です。

ちなみに調査に使用した私の電動車椅子サイズは、幅68cm、長さ110cm、高さ127cmです。

○ピオレ明石

東館・西館・南館の3館からなり、主に食品・衣料品等を扱う店舗が入っています。東館は、1Fは食品物販が主で、他に飲食店舗が9店ほどあります。一基しかないEVで上がった2Fは6店舗ほどの飲食店のみ。東館唯一の車椅子用WCも2Fに

あります。西館は、衣料物販が主で、飲食店は3店舗しかありません。EVはなく、車椅子用WCが一箇所あります。南館は、1Fがスーパーとなっていて、2Fに飲食店1店舗と歯科医院があります。車椅子用WCはなく、EVが一基だけあります。



JR明石駅中央改札前の入り口から入っていくとEVやWCの誘導サインが至るところにあります。



柱にも誘導サインとして、どのような設備があるかわかるピクトグラムが設置してあるため、迷うことなくEVやWCにたどり着きます。

場所 ピオレ東館エレベーター

- ①最大定員：13名
- ②サイズ：間口90cm・奥行き150cm・幅160cm
- ③タイプ：一方向型
- ④車椅子ユーザー用ボタン：あり
- ⑤後方確認用ミラー：あり
- ⑥利用可能時間：9:00～22:00（店舗営業時間）

EVは、旋回はできませんが、大型電動車椅子でもゆったり乗ることができました。



場所 ピオレ東館2Fトイレ

- ①タイプ：多目的トイレ（オストメイト対応）
- ②ドアタイプ：ボタン式
- ③入り口サイズ：間口93cm
- ④便器アプローチ：左
- ⑤手すり：跳ね上げ式



入り口の間口は広く、設備を示すピクトグラムがわかりやすく表示されています。車椅子用であることはもとより、オストメイト対応、手すりがついていること、多目的シートやベビーチェアがあることが示されています。



ドア開閉ボタンは、車椅子ユーザーが押しやすい位置についています。



授乳室も完備されているため、赤ちゃん連れで買い物に来ているお母さんも安心といったところでしょうか。誰もが使いやすい環境整備が至るところに見受けられる施設です。

西館の車椅子用 WC を目指します。



誘導サインはいずれもわかりやすく目的地まで誘導してくれます。

場所 ピオレ西館

- ①タイプ：多目的トイレ
- ②ドアタイプ：ボタン式
- ③入り口サイズ：93cm
- ④便器アプローチ：左
- ⑤手すり：跳ね上げ式



東館の車椅子用 WC と同様の設備です。私の後方に多目的シートとベビーチェアが見えます。



一般の WC にもいろいろな設備があるようです。



授乳室は当然で、多目的 WC にしかないと思っ
ていたおむつ交換台やベビーチェアの他に、フイ
ッティングボードや子供用便器まで設置されて
いるようです。



これって男性用 WC にも先述の設備があるって
ことですよね？



本当か？と思いましたが、表示されているので
本当なんだろうと、介助者をお願いして一般 WC
を撮影してもらいました。普通に設置してあ
りました。確認しに行ったのですが、東館の一般
トイレにも同様の設備がありました。

明石市は子育てしやすい街だと聞いたことが
あります。関係ないかもしれませんが、こういう
配慮もその要因になっているのでは？と考
えてしまいます。それより、このような設備は
実は当然のことなんでしょうか？私は今回の
調査でここまで揃っているのを初めて見ま
した。障害者だけでなく、あらゆる人に対
する配慮が必要であり、それがわかりやす
く存在していることが素直に嬉しかったです。



これは西館の「化粧室のご案内」パネルです。
設備がわかりやすく表示されており、かつ点
字仕様にもなっています。

場所 ピオレ南館エレベーター

- ①最大定員：11 名
- ②サイズ：間口 90cm・奥行き 140cm・幅 140cm
- ③タイプ：貫通型
- ④車椅子ユーザー用ボタン：あり
- ⑤後方確認用ミラー：あり



○パピオスあかし

「市民の憩いのオアシス・殿堂となり、明石市の
新しい文化を創造する広場になるようにとの願
いを込めて、『パ』：殿堂のパレス+『ピ』：広
場を意味するイタリア語のピアッツア+『オ
ス』：推進するの意味のオス（押す）とオアシ
ス、といったキーワードの文字をつないだ造語
でネーミングした再開発ビルです。飲食・物販
といった商業施設と市役所窓口・図書館子育て
支援施設

といった公共施設が入った、市民にも市外から来た一般客にとっても利用しやすい施設となっていました。

JR 明石駅とパピオスあかしとの間はロータリーで、車椅子乗降スペースが設けられています。



駅に行くのもパピオスあかしに入るのも屋根付きの通路があるため雨には濡れません。



乗降スペースの近くには、点字と音声ガイドでの案内板が設置してありました。



2階にもペデストリアンデッキがあるので、山陽電鉄からもパピオスあかしへの移動はスムーズに行えます。駅東側にあるアスピアあかし（商業施設）や明石市生涯学習センターにも駅から移動しやすいルートが設けられています。

場所 ラポールアスピア方面

- ①最大定員：15名
- ②サイズ：間口90cm・奥行き150cm・幅160cm
- ③タイプ：一方向型（普通）
- ④車椅子ユーザー用ボタン：あり
- ⑤後方確認用ミラー：あり



場所 パピオスあかし市民広場東側

- ①最大定員：24名
- ②サイズ：間口110cm・奥行き200cm・幅180cm
- ③タイプ：一方向型（普通）
- ④車椅子ユーザー用ボタン：あり
- ⑤後方確認用ミラー：あり



パピオスあかし内を移動できるEVは6機あり、

市民広場東側 EV と中央 EV は同じサイズの EV です。市民広場東側 EV は、1～3 階の商業施設にしか止まりません。駅から最も近い EV だけに、利用頻度は一番高いはずですが、1～7 階を移動できるのは中央 EV のみ。↓

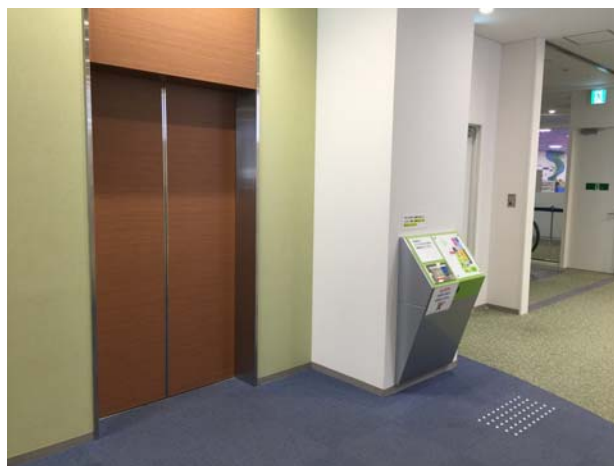


飲食店利用客が多いと公共施設へ行くのに結構待たされます。4～6 階の公共施設は市民が一番使うであろう施設だけに、市民広場東側 EV も 6 階まで移動できれば中央 EV の混雑は緩和されたかもしれません。



中央 EV も市民広場東側 EV も電動車椅子でも普通に旋回できます。おそらく電動車椅子 2 台が同時に乗ることも可能でしょう。

中央 EV で行ける 4～6 階の公共施設は、どのフロアも EV 向かって右側に点字案内板（音声案内板）があります。インターホンでスタッフを呼べるようになっており、視覚・聴覚障害者に配慮する工夫が施されていました。



2 階市民広場には、「手話フォン」なる聴覚障害者が手話で電話をかけることができる公衆電話が設置されていました。



電話リレーサービスというものらしく、耳の聞こえる人と聞こえない人を電話リレーサービスセンターにいる通訳オペレーターが「手話」や「文字」と「音声」を通訳することにより、電話で即

時双方向につなぐサービスようです。世界の20カ国以上で、無料で提供されているサービスですが、日本ではまだ制度化されていないようです。確かに私も手話フォンの存在はこれを見て初めて知りました。



パピオスあかし内に車椅子で利用できる多目的WCは8つあります。全てオストメイト対応です。間口90cmタイプが5つ、間口105cmタイプが3つです。4階図書館、5階子育て支援センターにあるトイレが間口105cmタイプです。

場所 間口90cmタイプ

- ①タイプ：多目的トイレ
- ②ドアタイプ：手動式
- ③入り口サイズ：間口90cm
- ④便器アプローチ：右
- ⑤手すり：跳ね上げ式



電動車椅子でも特に狭さは感じませんでした。が、トイレによっては右アプローチ、左アプロ

チタイプがあるので、使いやすい方を選択する必要があるかもしれません。



場所 間口105cmタイプ

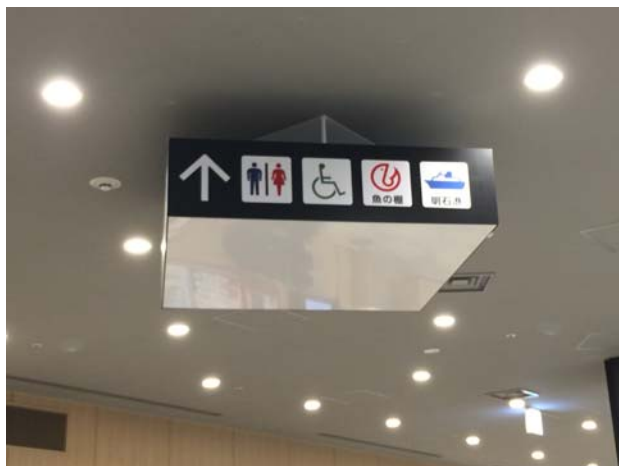
- ①タイプ：多目的トイレ
- ②ドアタイプ：手動式
- ③入り口サイズ：間口105cm
- ④便器アプローチ：左
- ⑤手すり：跳ね上げ式





5階「あかしこども広場」にある多目的トイレは大人でも使える大きなおむつ交換台があります。おむつ交換台を出すと、オストメイト対応トイレが使いにくいですが、トイレ内は実に広く、介助者も動きやすい空間になっています。

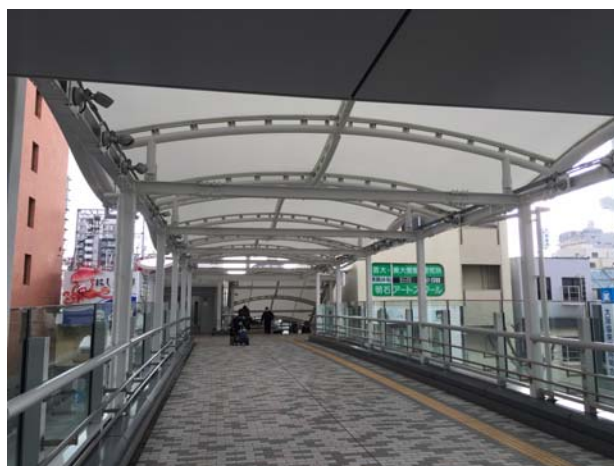
パピオスあかし内の誘導サインやピクトグラムはかなりわかりやすいものでした。



今回のパピオスあかし調査では、飲食店や物販店、クリニック等の店舗調査は行っておりません。実際に足を運んで利用していただくとわかると思います。再開発ビルですので障害者が全く利用できない場所はありません。ページ数の関係上、調査を行ったEVやWCも全てを写真掲載しておりませんが、「とにかく誰でも使えるんです」ということと、様々な配慮・工夫がされています、ということを伝えたいです。

商業施設エリアの調査はとても大変でした。とにかく調査する箇所が多い！寒い中で調査を行ったので疲れましたが、利用できる店舗を多く発見できたことも大きな収穫でした。今後も兵庫頸髄損傷者連絡会の行事で利用しようと考えています。

では、ここからは駅からパピオスあかし内を抜けて市場エリアへ抜けるペDESTリアンデッキを通して「魚の棚（うおんたな）商店街」をお楽しみください。↓



市場エリア

調査員・土田浩敬、橋祐貴

土田報告

1、はじめに

明石駅周辺のバリアフリー調査ということで行ってきました。私自身、明石駅は通院するのによく利用する駅です。

今回私は、魚の棚の飲食店とトイレについて調べて来たことを、皆さまに報告します。

2、明石駅周辺バリアフリー調査のキッカケ

今からやく 10 年前、明石市で行われた人工呼吸器利用者の現状を知ってもらうべく、兵庫頸損連主催の市民公開講座が開かれました。あれから 10 年が経ったいま、私たちを取り巻く環境がどう変わったのか検証してみようということで、兵庫頸損連のメンバーが明石駅周辺を調査しました。

3、明石名物

明石といえば「鯛」「タコ」「いかなごの釘煮」なんかが名物として名前があがるのではないのでしょうか。

そんな明石名物がたくさんある場所といえば、明石駅南側にある、「魚の棚商店街」がオススメです。全長 350m のアーケードに、海産物や農作物、加工食品を販売するお店や飲食店が約 110 店舗建ち並んでいます。食べ歩きやお土産を買いに訪れたり観光するのもいいスポットです。JR 明石駅、山陽明石駅からも徒歩 3 分程でアクセスも最高です。



明石海峡で獲れた新鮮な魚介類が店前に並んでいます。イキがよいので、獲れたての魚は飛び跳ねて外に飛び出るほどです。明石で獲れる鯛やタコは、明石海峡の早い潮流の中で育つので、身が引き締まって美味しいと有名です。

4、調査結果

調査人 土田浩敬

インバケア社 TDX-SP 幅 73 センチ

飲食店

○かねひで

営業時間 11:00~15:00

定休日 木曜日、第二水曜日

入り口段差無し

店内の広さは電動車椅子で十分入れる

店員さんの対応は良い

オススメ料理

明石焼き 15 個 650 円

かねひでの明石焼きはあっさりしていて上品な味。店内も比較的広いので車椅子で 6 台くらいは入れそう。車椅子数台で入って、ワイワイ楽しめそうです。店員さんの対応も良くてもう一度訪れたいお店。(実際私は 2 回目でした)





○喜林商店（アナゴ専門店）

営業時間 12:00～無くなり次第
 定休日 木曜日、お盆、年末年始
 入り口段差無し
 店内の広さは電動車椅子に十分入れる
 店員さんの対応は良い

オススメ料理

アナゴ丼 1,300円 アナゴ茶漬 900円

とにかくアナゴ丼が美味しい。アナゴ専門店だけあって、アナゴに対するこだわりが感じさせられるお店で、私が注文したアナゴ丼で売り切れになりました。香ばしく焼かれたアナゴとタレが最高に美味しかった。



○多幸

営業時間 11:00～月火水 18:00 まで、木 16:00 まで、金土日 20:00 まで
 定休日 無休
 入り口段差無し
 店内の広さは若干狭くて電動車椅子4台程入店可能
 店員さんの対応は良い

オススメ料理

鯛茶漬 1,200円 明石焼き 15個 600円

少し入り口が狭いですが私が使用する、インバケア社 TDX-SP でも入れました。店員さんも快く対応して下さいましたが、お昼時は客が多いです。まず鯛茶漬ですが、白米の上に薬味と漬け鯛が乗っかって、そのまま食べてもよし。その後ダシ

をかけてお茶漬けにしてもよし、個人的には「白米」「薬味」「漬け鯛」ダシをかけなくても絶品でした。

明石焼きは、ダシはしっかりしている感じで、焼き加減も香ばしく食欲がそそられます。



トイレ

○魚の駅

タイプ：車椅子用（普通）

ドアタイプ：手動式

入り口サイズ：間口 86 センチ

便器アプローチ：右

手すり：跳ね上げ式

少し奥にあるので分かりにくい

長期間使われてない雰囲気がある



5、まとめ

明石焼きは店舗によって味が違うので、食べ歩きがオススメです。私は1月の寒い時期に行ったのですが、寒い中アツアツの明石焼きは最高でした。また、夏の暑い季節に明石焼きにビールがよく合うのでしょうか。まだ調べられていないお店もあるので、皆さん挑戦してみてください。お昼時は店が混むので少し時間をずらして行かれるのがオススメです。

新鮮な魚介類にタコの干物など、見ているだけ

でも楽しい商店街。兵庫県ではお馴染み「いかなごの釘煮」春に採れたシラスを醤油や砂糖、生姜などで甘辛く炊いたものですが、これはごはんが止まりません。春に兵庫県外から訪れる方は是非ご賞味ください。

まとめなのにダラダラと書いてしまいました。兵庫は神戸や姫路だけではなく、意外と知らない観光名所がたくさんあります。是非明石に足を運んで実際に見て味わってみてください。いろんな兵庫を味わい体感してみてください。

橘報告

今号の特集は明石駅周辺のバリアフリー調査がテーマです。私は魚の棚（うおんたな）商店街周辺のエレベーターや飲食店を調査しました。

魚の棚商店街は国道2号線の南側を東西350mにわたるアーケード街で、鮮魚店や明石焼きの店が多いのが特徴です。明石の代表的な観光地として地元の買い物客以外にも観光客も多く訪れていてにぎわっています。以前は明石駅からのアクセスには国道2号線の横断歩道を渡る必要があり、信号待ちに時間がかかっていましたが、2016年12月のパピオスあかしの開業に併せて、明石駅から国道2号線南側の商店街入り口に直結するデッキが整備されて行きやすくなりました。デッキには屋根がついているので雨の日でも安心です。

私が魚の棚に行ったのは1月11日。前日までの寒さが落ち着いて風も弱く、外を調査するには都合の良い天気でした。灘駅から電車で約30分。正午過ぎに明石駅に到着したため、下校の時間と重なりホームは賑わっていました。駅南口からデッキに上がり魚の棚方面へ。デッキの大部分は屋根がついていますが、一部に廂が短い部分があるのは少し残念です。デッキは国道2号線を渡った商店街入り口まで続いていて、エレベーターも設置されています。商店街最寄りのエレベーターは15人乗りの通り抜けタイプで私の電動車いすでも余裕で入りました。商店街側からはエレベーターが見えづらく、東西のアーケードには案内表示もないので少し分かりにくいかもしれません。

商店街のアーケードには大漁旗がかかっているのがきれいでした。調べてみると12月ごろから1

月末ぐらいまでの期間限定だそうです。訪れた日は平日だったので地元客が多かったですが、観光客もそれなりにいてにぎわっていました。

魚の棚で食べるなら明石焼きは外せません。こぢんまりとした店が多いですが、入り口に段差がないところが多いので電動車いすでも意外に入れます。店の外にもテーブル席があるところも多いです。後でわかったのですが、明石観光協会のHP (<http://www.yokoso-akashi.jp/>)には明石焼きの店についてのバリアフリー情報が載っていて、入口の段差の有無や間口の広さなどが分かるので店を選ぶ時の参考になると思います。



パピオスあかしからの魚の棚への歩道橋



歩道橋エレベーター（通り抜け・15人乗り）



アーケードには大漁旗が

明石焼きの老舗「よし川」

魚の棚商店街内では一番古い明石焼きの店で、テレビや雑誌にもよく取り上げられていて、店内には多くのサイン色紙が飾られていました。



店内の様子

すいていたので店内で食べましたが、電動車いすでも問題がない広さでした。店の人も快く対応してくれて好印象。また、店の外にもテーブル席が設置されているので気候が良ければ外でもありだと思います。

今回注文したのは玉子焼 (10個 税込648円)、だし汁のほかにテーブルにソースを置いてあるので途中で味を変えてみるのもお勧めです。今回は食べていませんが、玉子焼以外にもタコ飯やすじ焼きも人気のようで、家庭で作れる「タコ飯の素」も販売していました。



玉子焼

営業時間 平日 10:00～18:00

土・休日 10:00～19:00

定休日 木曜日 (8月と年末は無休)

間口約75cm 入り口引き戸

(明石市観光協会 HP より参照)

